クリアリングゲートウェイシステム運用実験ユーザマニュアル

平成元年6月

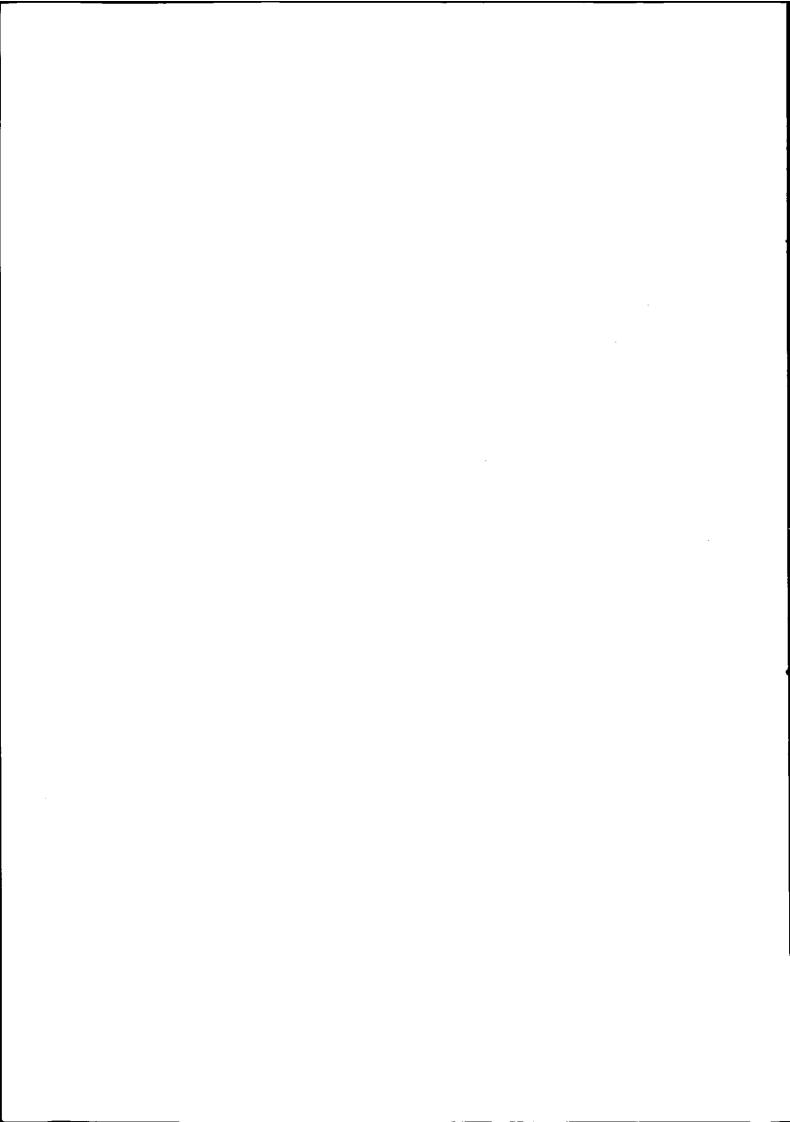
財団法人 データペース振興センター

このマニュアルは、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受けて 作成したものです。

クリアリングゲートウェイシステム運用実験 ユーザマニュアル

平成元年6月

財団法人 データベース振興センター



∄	次	
1章	システムの概要	
	(1)	仕組み
	(2)	CGシステムのサービス内容
	(3)	接続対象データベースセンタの概要
2章	サービス時間とお問合わせタ	七 ···· ································
	(1)	CGシステムのサービス時間帯
	(2)	お問合わせ先
3章	確認事項	
	(1)	フロッピーディスク
	(2)	端末
	(3)	モデム
	(4)	その他
4章	利用者管理IDの説明 …	
	(1)	パスワード
	(2)	パーソナルID ······
5章	操作手順	······································
	(1)	立上げ、接続、切断
	(2)	クリアリング手順
	(3)	検索手順
	(4)	TSRメニュー検索手順
6章	ファンクションキーの説明	••••••
	(1)	標準コマンド
	(2)	クリアリング検索時のファンクションキー
	(3)	クリアリング検索時の標準コマンド
7章	端末ローカル処理の手順	
	(1)	オンライン中の端末ローカル処理手順
	·	オフライン中の端末ローカル処理手順

8章	操作上の注意事項		8 – 1
9章	異常時の対処方法		9 - 1
		(1) CGセンタ接続時のエラー・メッセージ	9 - 1
		(2) DBセンタ接続時のエラー・メッセージ	9 - 1
		(3) 検索時のエラー・メッセージ	9 - 2
10音	その俳(タデータへ	- 1 絵委時の以亜マニュアル)	10 1

.

1章 システムの概要

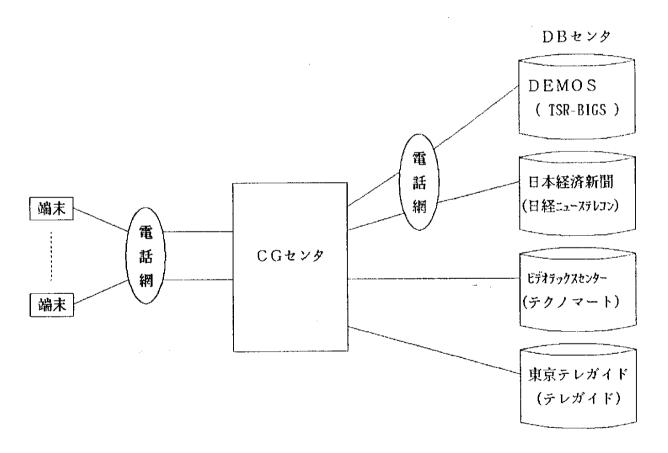
(1) 仕組み

利用者の皆様は、お手持ちの端末(NEC PC-9800シリーズ)を用い、一般の電話回線を経由して、クリアリングゲートウェイセンタ(以下CGセンタという)に容易にアクセスすることができます。

データベース(以下、DBという)検索は、各DBサービスの案内(クリアリング)及び各DBセンタへの接続(ゲートウェイ)機能を用いることにより、同一の端末で、各DBセンタのサービスを利用でき、簡単な操作で、迅速に必要な情報を取り出すことができます。

DBの案内情報の検索としては、NAPLPS準拠(注)のメニューガイド方式を採用しておりますので、誰でも画面を見ながら、目的のDBを選択することができます。

(注) NAPLPS (North American Presentation Level Protcol Syntax) ビデオテックスの北米標準方式で、特に図形表現の面に優れる。



- (2) CGシステムのサービス内容
 - CGシステムには、次の3つの検索手順が用意されております。

利用者は、DBサービス利用経験や検索の利便性を考慮して目的のDB検索ができます。

- 分野から目的のDBを案内し、そのDBの概要を説明し、DBサービスへゲートウェイ接続して目的のDBを選択する。
- 接続したいDBをよく知っており、即時にDBサービスへゲートウェイ接続し、目的のDBを選択する。
- DBサービス名から目的のDBを案内し、そのDBの概要を説明し、DBサービス へゲートウェイ接続して目的のDBを選択する。
- 更に、CGシステムでは既にDBのクリアリングサービスを商業ベースで提供して いるDBサービスの案内も行っております。

は独和リイデタベートは様し

(3) 接続対象データベースセンタの概要

接続対象となるDBセンタには、「DEMOS」、「日本経済新聞」、「ビデオテックスセンター」、「東京テレガイド」の4つのセンタがあります。 各DBセンタとそのサービス内容の概要については次表のとおりです。

DBセンタ	DBサービス	サービス内容の概要
NTTデータ通信 (DEMOS)	TSR-BIGS	東証1部・東証2部・地方上場等の各上場企業について 商号、所在地、代表者、資本金、大株主、取引銀行、 業績、収益、指標等の企業属性情報を提供。
日本経済新聞 (日経)	日経ニューステレコン	ニュース連報、企業信用情報、新聞速報、ニューズレタ 一最新号、記事検索、図書・辞典、人事・企業、新製品 等に関する情報を提供。
ビデオテックスセンター	テクノマート	特許権、実用新案権、意匠権等の売り買い情報、研究開発パートナーの受託、委託、共同開発情報、生産、販売パートナーの受託、委託情報、新製品PR情報、コンピュータソフトの売り買い情報等をNAPLPSベースで提供。
東京テレガイド	テレガイド	飲食、ショッピング、サービス、ホテル・空室情報、映画、演劇、音楽、スポーツ、レジャー、ビジネス・会社情報、テレガイド中古車情報、住まいの物件ガイド等の情報をNAPLPSベースで提供。

	•	`	
		•	
•			
		•	

2章 サービス時間とお問合わせ先

(1) CGシステムのサービス時間等

期間:平成元年6月5日(月)~9月1日(金)

時間:午前9時30分~午後4時30分

〔土・日曜日・祝祭日及び夏休み・メンテ日(葉書等により事前に連絡)は休みです〕

(2) お問合わせ先

CGシステムの操作・故障等についてのご質問は、下記へ電話でお問合わせ下さい。

ビデオテックスセンター

〒105 東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックスビル

●電話番号: (03) 459-1533

●受付時間:午前9時30分~午後4時30分

〔上記運休日を除く〕



3章 確認事項

まず、以下のことをご確認下さい。

- (1) フロッピーディスク
 - (a) 添付されているCG端末ソフトのフロッピーディスクのサイズは、5インチ及び3.5 インチがあります。
 - (b) フロッピーディスクのラベルには、ソフトバージョン及びユーザ I Dが記載されています。

利用通知書の内容と一致しているか、ご確認下さい。

(2) 端末

端末の取扱説明書をご覧になり、ご使用法・設定を、ご確認下さい。 使用端末の条件は、次のとおりです。

① P C 9800 シリーズ V M 以上でカラー対応。ただし、X L、L T を除く

② メモリ

640KB以上

③ ディスプレイ

標準解像度 640 × 400 (アナログディスプレイ)

④ キーボード

標準JISキーボード

⑤ プリンタ

1台

(NAPLPSのハードコピーには、ビデオプリンタが必要)

⑤ フロッピーディスク 5インチ又は3.5 インチ(1 MB) 2台

(ハードディスク+1台でも可能)

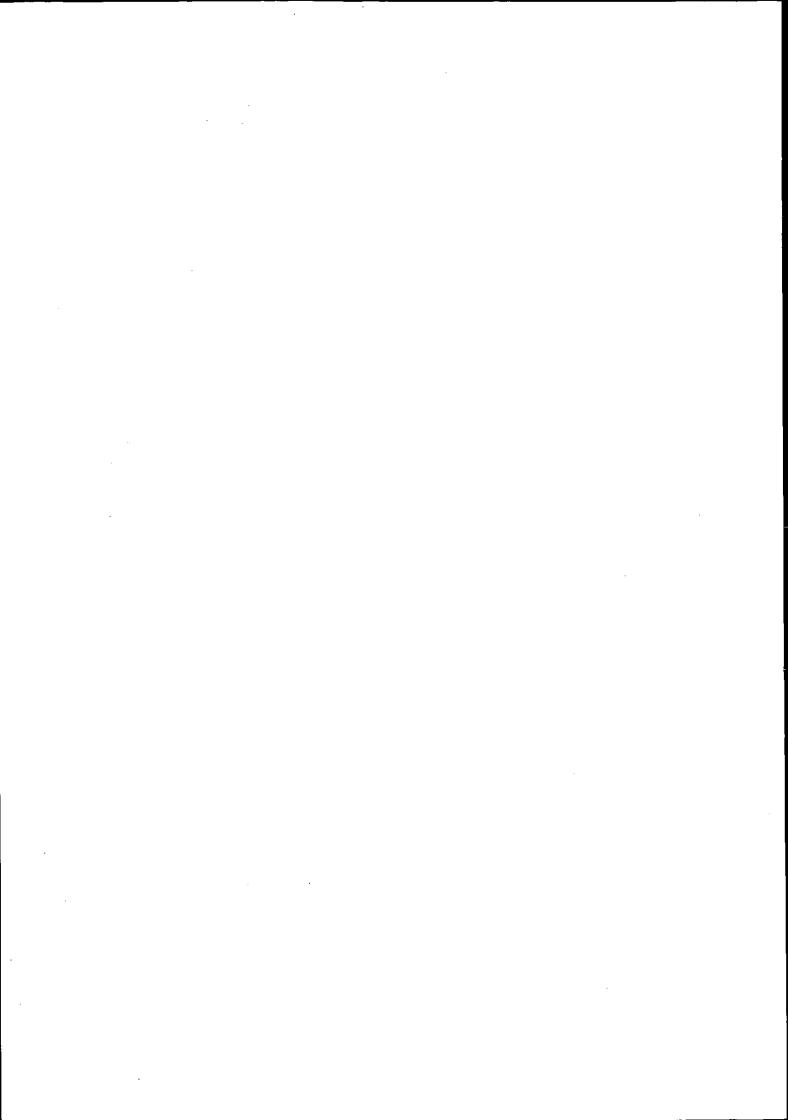
(3) モデム

モデムの取扱説明書をご覧になり、ご使用法・設定を、ご確認下さい。 使用モデムの条件は、次のとおりです。

- 一般交換電話網用に標準化された1200及び2400bit/s 全二重モデム
 - CCITT V.21/22bis 準拠
 - ヘイズAT又はCCITT V.25bisコマンド対応

(4) その他

CG端末のソフトウェアは著作権により保護されていますので、無断複写は著作権侵害となります。



4章 利用者管理 I Dの説明

DB情報のセキュリティ対策として、CGセンタへのアクセス許可は、登録された利用者のみに限られます。

利用者の識別のため、パスワードとパーソナルID(利用通知書で通知)を利用毎に端末から入力していただきます。

(I) パスワード (PSW)

パスワードは、利用者がCGセンタ登録者であるかを識別するのもので、銀行の暗証番号と同じものであります。

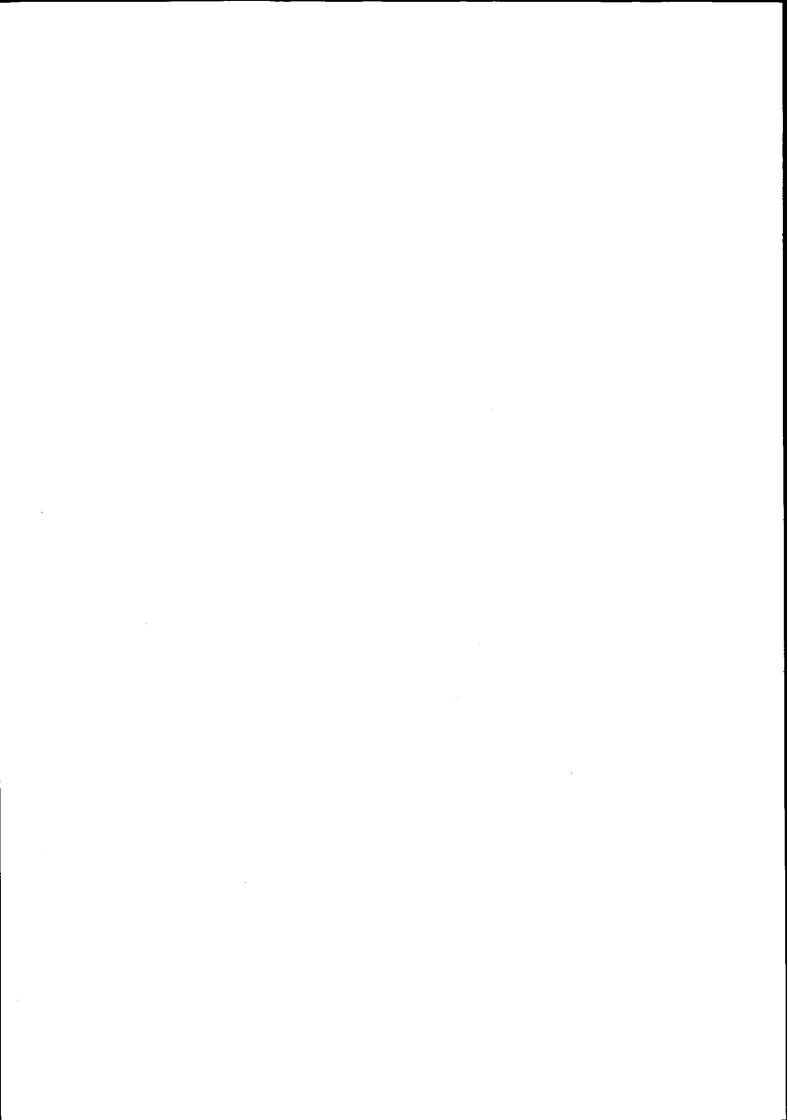
お使いになる方だけが知っているものであり、慎重な管理を行って下さい。

(2) パーソナル I D (P I D)

パーソナルIDは、個々の利用者を識別するものであります。

利用者とCGシステム間の契約形態として、各個人毎に1契約を結ぶこと以外に利用団体として1つの契約を結び、1端末を複数の利用者が使用できます。

パスワード及びパーソナルIDの変更が必要となったときは、 前記「お問合わせ先」にご連絡下さい。



5章 操作手順

CGシステムの基本的な操作には、立上げ、接続、切断、クリアリング、データベースの検索があります。この章では、それらの手順について具体例をまじえながら説明します。

尚、利用者の方の操作の便宜のため、主なキーの機能等を『6章ファンクションキーの説明』に まとめておきましたので、適宜そちらもご覧下さい。

(1) 立上げ、接続、切断

ここでは、CGシステムのご利用のために必要な操作手順のうち、ごく基本的な立上げ、接続、 切断等の操作について説明します。

(a) 電源の投入

本体、ディスプレイ、フロッピーディスク・ドライブ、プリンタ及びモデムの電源スイッチをオンにします。それぞれの装置の電源ランプをご確認下さい。

- (b) フロッピーディスクのセット CG端末ソフトをフロッピーディスク・ドライブに入れて下さい。
- (c) リセット パソコン本体のリセットスイッチを押して下さい。MS-DOSが起動し、引き続きCG端末 ソフトが起動されます。
- (d) 「接続」の選択 C G 端末ソフトが起動されますと、次のような初期メニュー画面が表示されます。

** 初期メニュー画面 **

- 1. センタへの接続
- 2. セットアップ
- 3. スプールファイルの再生
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. 終了 (MS-DOSに戻る)

(e) パスワードの入力

「接続」が選択されますと、次のような画面が表示されます。

CGシステムオンラインサービスを開始します。

*あなたのパスワードを入力して下さい。

パスワード:

(f) パーソナル I Dの入力 パスワードが入力されますと、次のような画面が表示されます。

CGシステムオンラインサービスを開始します。

*あなたのパーソナルIDを入力して下さい。

パーソナルID:

ここでパーソナルIDを入力して、「J」キーを押して下さい。

CGシステムは、パスワード、パーソナルIDのチェックを行います。

入力されたパスワード、パーソナルIDが正しくないと、画面に次のようなメッセージが表示されます。

CGシステムオンラインサービスを開始します。

パスワードが違います。

メッセージが表示されたあと、「(e)パスワードの入力画面」に戻りますので、確認の上、入力 しなおして下さい。

尚、3回連続して誤って入力されますと、次のようなエラー・メッセージが表示されます。

処理を打ち切ります。

その後、初期メニュー画面に戻ります。

(g) トップメニュー

パスワード、パーソナルIDの入力が正しく実行されますと、次のようなトップメニュー画面 が表示されます。

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ> <データベース サービス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース サービス の案内

2.自然科学・技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク センタの案内

5.その他の分野

該当の番号を入力して下さい。

これ以後は、『(2)クリアリング手順』をご覧下さい。

(h) 切断

データベースへのゲートウェイ接続中、データベースのクリアリング中のいずれの場合でも、CGシステムを終了させるには、ファンクションキーのログオフキー(SHIFT キーを押しながら $f \cdot 10$ キーを押す)を押します。

そうしますと、次のような画面が表示されます。

CGシステムオンラインサービスを終了します。

1989年7月15日

CGシステム 利用時間

00:30:40

ゲートウェイ 利用時間

TSR-BIGS 00:20:10

「」「キーを押して下さい。

** 初期メニュー画面 **

- 1. センタへの接続
- 2. セットアップ
- 3. スプールファイルの再生
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. 終了 (MS-DOSに戻る)

この画面が表示されると、CGシステムとの接続は終了します。「9」を選択して、MS-DOSに戻った後、CG端末ソフト(フロッピーディスク)を抜き取って電源を切って下さい。

(2) クリアリング手順

ここでは、CGシステムが提供するクリアリング・データベースの利用方法について説明します。 クリアリング・データベースは、データベース・サービスと個々のデータベース・サービスが提供 するデータベースの名称の表示と内容の説明を行います。

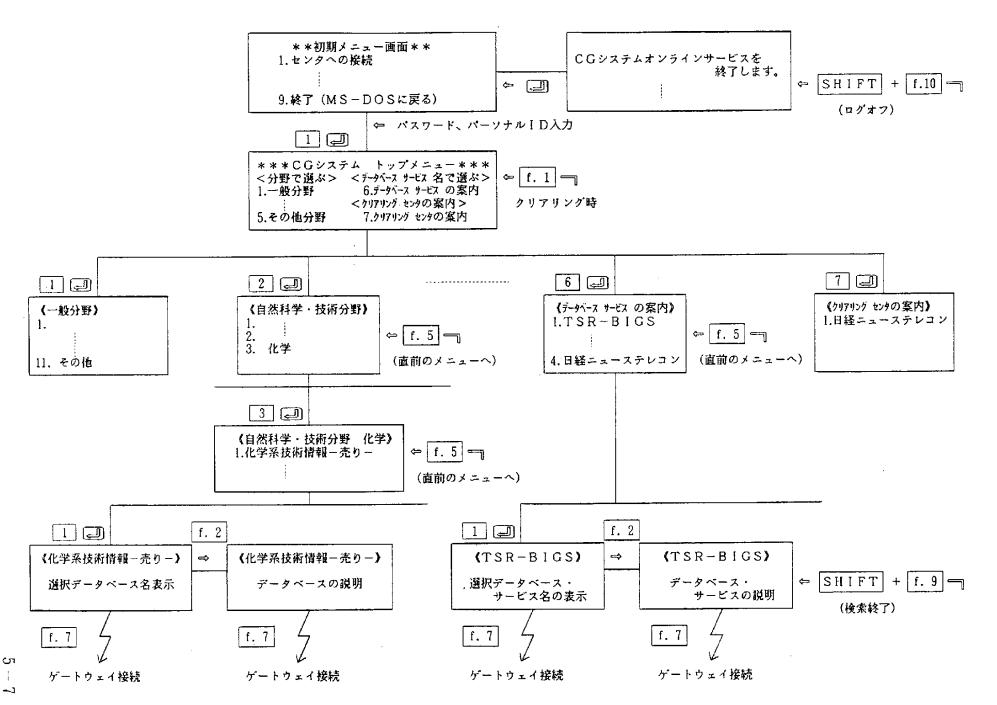
また、個々のデータベース・サービスやデータベースを選択し、それらへの接続を指定することができます。

クリアリング・データベースは、メニュー検索方式です。そのため、利用者の方は、画面に表示されるメニュー画面を見ながら、検索を行いたいと思う情報の番号を入力し、 [4] キーを押すことにより、クリアリングを行うことができます。

また、共通的な操作については、ファンクションキーにコマンドが割り付けられており、該当のファンクションキーを押すことにより実行されます。

以下に例を上げて、具体的なクリアリング手順について説明します。

また、次ページにクリアリング・データベースの概要図を示しますので、ご参照下さい。



クリアリング・データベースの概要図

- (a) データベースの分野でクリアリングを行う場合
 - ① トップメニュー

「立上げ」「接続」の手順が正確に行われますと、次のようなトップメニュー画面が表示されます。

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ>

<テータヘース サーヒス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース サービス の案内

2.自然科学·技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク センタの案内

5.その他の分野

該当の番号を入力して下さい。

ここで、クリアリングを行いたいデータベースの分野を選択します。 ここでは、「1.一般分野」を選択します。 「1」を入力して「1」を中します。 次のような画面が表示されます。

② 分野メニュー

《一般分野メインメニュー》

- 1. 全般
- 2. 新聞・雑誌・ニュース
- 3. 人物・機関情報
- 4. 行政
- 5. 法律
- 6. 政治
- 7. 健康・スポーツ
- 8. 旅行・スケジュール
- 9. 娯楽・レジャー・施設案内
- 10. 生活文化·家庭生活
- 11. その他

該当の番号を入力して下さい。

ここで、クリアリングを行いたいデータベースのサブ分野を選択します。 ここでは、「8.旅行・スケジュール」を選択します。 「8」を入力して「即キーを押します。 次のような画面が表示されます。

③ サブ分野メニュー

1.	日本の旅・海外の旅	(DBセンタ-)
2.	今週の予定)
3.	天気予報	()
4.	花・祭・催し物	(>
5.	フライト・ガイド	(>
6.	ホテル・空室情報	(>
7.	HOTEL・旅館情報	()
		- -	Í

ここで、クリアリングを行いたいデータベースを選択します。 ここでは、「1.日本の旅・海外の旅」を選択します。 「1」を入力して「即キーを押します。 次のような画面が表示されます。

《日本の旅・海外の旅》

今、

「日本の旅・海外の旅」 が選択されています。

(f·7) テータヘースに接続する (f·2) 説明を見る

ここで、次の行動を選択します。

{f·7} というのはファンクションキーの f·7 を押すことを意味しています。

f · 7 でデータベースに接続、 f · 2 でデータベースの説明を見る、 f · 3 で

1つ前の画面に戻ることができます。

f·2 を押してみます。

次のような画面が表示されます。

④ データベース説明画面

《日本の旅・海外の	/旅》
このデータベースは・・・・・・	
	です。
〔 f・7〕 テータヘースに接続する	(f.5) メーィーに戻る

ここで、次の行動を選択します。 $\boxed{f\cdot7}$ でデータベースに接続 $\boxed{f\cdot5}$ でメニュー (この場合は「3サブ分野メニュー」) に戻ることができます。

データベースに接続したあとの検索手順については、『(3)検索手順』をご覧下さい。

- (b) データベース・サービス名でクリアリングを行う場合
 - ① トップメニュー

「立上げ」「接続」の手順が正確に行われますと、次のようなトップメニュー画面が表示されます。

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ>

<テータヘース サーヒス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース サービス の案内

2.自然科学・技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク センタの案内

5.その他の分野

該当の番号を入力して下さい。

ここで、「6.データベースサービスの案内」を選択します。 「6」を入力して②サーを押します。 次のような画面が表示されます。

《データベースサービスの案内》

- 1. TSR-BIGS
- 2. テクノマート
- 3. テレガイド
- 4. 日経ニューステレコン

該当の番号を入力して下さい。

ここで、クリアリングを行いたいデータベースサービスを選択します。 ここでは、「3.テレガイド」を選択します。 「3」を入力して[←□]キーを押します。

次のような画面が表示されます。

《テレガイド》

今、

「テレガイド」 が選択されています。

〔 f·7〕 テータベース・サーヒス に接続する 〔 f·2〕説明を見る

ここで、次の行動を選択します。

- $f \cdot 7$ でデータベースサービスに接続、 $f \cdot 2$ でデータベースの説明を見る、 $f \cdot 3$ で前画面に戻ることができます。
 - f·7 を押してみます。 次のような画面が表示されます。

③ データベースサービス接続画面

《テレガイド》 今、 「テレガイド」 に接続しています。

これで、データベースサービスに接続されます。データベースサービスに接続した後の検索 手順については、「(3)検索手順」をご覧下さい。

- (c) クリアリング・センタの案内でクリアリングを行う場合
 - ① トップメニュー

「立上げ」「接続」の手順が正確に行われますと、次のようなトップメニュー画面が表示されます。

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ>

<テータヘース サーヒス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース サービス の案内

2.自然科学·技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク センタの案内

5.その他の分野

該当の番号を入力して下さい。

ここで、「7.クリアリングセンタの案内」を選択します。 「7」を入力して②サーを押します。 次のような画面が表示されます。

② クリアリングセンタ・メインメニュー

《クリアリングセンタの案内》

1. 日経ニューステレコン

該当の番号を入力して下さい。

このあとの手順は、「(b)データベース・サービス名でクリアリングを行う場合」と同様です。 そちらをご覧下さい。

- (d) 特別な場合のクリアリング手順 今までは、正常な場合のクリアリング手順について説明してきました。 ここでは、特別な場合のクリアリング手順について説明します。
 - ① 選択がエラーの場合

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ> <データバース サービス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース サービス の案内

2.自然科学·技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク センタの案内

5.その他の分野

該当の番号を入力して下さい。

このような画面でメニューにない番号を入力します。 例えば、この画面で「8」を入力して「二川キーを押してみます。 次のようなメッセージが表示されます。

CGシステム トップメニュー

<分野で選ぶ>

<テータヘース・サーヒス 名で選ぶ>

1.一般分野

6.データベース・サービス の案内

2.自然科学·技術分野

3.社会科学分野

<クリアリンク・センタの案内>

4.ビジネス分野

7.クリアリンク・センタの案内

5.その他の分野

入力エラー。もう一度入力して下さい。

この場合は、もう一度正しい数字を入力しなおして下さい。

② メニュー画面が複数の場合

同一カテゴリーのメニュー項目が非常に多数の場合は、次のように情報が継続する旨のメッセージ (1/2)が表示されます。

《娯楽・レジャー・施設案内》 1/2

- 1. 映画・演劇・音楽
- 2. お楽しみフラッシュ
- 3. クイズ・占い
- 4. ゲーム
- 5. サービス
- 6. ショッピング
- 7. 自動車免許取りたい人集まれ
- 8. スクールガイド
- 9. スポーツ・レジャー(旅行)
- 10. 宝くじ・金貨
- 11. 食べる・飲む
- 12. テニス総合情報
- 13. 花・祭・催し物
- 14. ボーリング総合情報
- 15. プレゼントボックス
- 16. GOLF会員権相場

さらに情報あり (f·2) 次画面

該当の番号を入力して下さい。

ここで継続する情報を見たい場合は、ファンクションキーの f·2 を押します。 次のように継続する情報が表示されます。

《娯楽・レジャー・施設案内》 2/2

- 1. Hello, この街
- 2. Let's スキー'88

〔f·3〕前画面

該当の番号を入力して下さい。

ここで、前の画面に戻るには、 f·3 キーを押します。

③ ヘルプ情報を見たい場合

CGシステムでは、使い易いシステムを実現するため、ファンクションキーの1つにヘルプ画面を割り当てています。

このファンクションキーを押すと、ヘルプ画面が表示されファンクションキーの機能等を画面上 で確認することができます。

ヘルプ画面の例

実際のヘルプ画面の例を示します。ヘルプ画面のファンクションキーは、 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix} + f \cdot 7 \end{bmatrix}$ です。 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f \cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押します。

ヘルプ画面から検索画面に戻るには、再度 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押します。

《ヘルプ画面》

CGシステムでは・・・・・・

・・・・・です。

④ クリアリングを終了したい場合

クリアリングを終了したい場合は、入力可能な状態の時にファンクションキーのログオフキー ($\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 10 \end{bmatrix}$ キー) を押します。 次のような画面が表示されます。

CGシステムオンラインサービスを終了します。

1989年7月15日

CGシステム 利用時間

00:30:40

ゲートウェイ 利用時間

TSR-BIGS 00:20:10

[』]キーを押して下さい。

ここで[週]キーを押して下さい。

通信が切断され、初期メニュー画面が表示されます。

- ** 初期メニュー画面 **
- 1. センタへの接続
- 2. セットアップ
- 3. スプールファイルの再生
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. 終了 (MS-DOSに戻る)

(3) 検索手順

ここでは、CGシステムのサービスにより検索可能なデータベースサービスの検索手順の概要について説明します。

また、このマニュアルの最後に各データベースサービス検索時の必要マニュアルについての説明 がありますので、検索コマンド等詳細についてはそちらをご覧下さい。

(a) 接続可能なデータベース

CGシステムのサービスにより、接続可能なデータベースサービス名と各サービスの検索手順を以下に示します。

データベースサービス名	検	索	手	順	
TSR-BIGS テクノマート テレガイド 日経ニューステレコン	コマンド検索方式 メニュー検索方式 メニュー検索方式 メニュー検索方式とコマン	ノド検	索方式	の併用	

ただし、TSR-BIGSについては、CGシステムのメニューエミュレート機能をご使用になれば、メニュー検索方式で簡単に検索が行えます。

メニューエミュレート機能の使用方法については、「(4)TSRメニュー検索手順」をご覧下さい。

(b) 各データベースサービスに共通な手順

① 接続

各データベースサービスへの接続はCGシステムが行いますので、利用者の方は特にコマンド等を入力する必要はありません。

クリアリングでデータベースサービスか個々のデータベースを選択し、接続を要求することで接続の処理が実行されます。

接続が完了すると、データベースサービスから選択した場合は各サービスの初期画面が、データベースを選択した場合は、個々のデータベースの初期画面が表示されます。

クリアリングから接続までの手順については、『(2)クリアリング手順』をご覧下さい。

② 終了

各データベースサービスの検索を終了するには、ファンクションキーを使用します。

SHIFT + f·9 又は SHIFT + f·10 を使用します。
SHIFT キーを押しながら f·9 キーを押すと、クリアリングデータベースに戻ります。
SHIFT キーを押しながら f·10 キーを押すと、CGシステムからも切断されます。

(c) 各データベースの検索方法

ここでは、各データベース毎の検索方法の概要について説明します。

検索手順や検索コマンドの詳細については、各データベースサービスのマニュアルをご覧下さい。

① TSR-BIGS

メニューエミュレート機能を使用しないでTSR-BIGSを検索するには、コマンドによる 検索となります。コマンドで検索条件を指定して、データ検索を行い、また検索データの出力も コマンドにより行います。

メニューエミュレート機能については、「(4)TSRメニュー検索手順」をご覧下さい。

② テクノマート

通常の検索は全てメニュー検索により行えます。

③ テレガイド

テレガイドもテクノマートと同様にメニュー検索方式ですから、画面に表示されるメニューから知りたい情報を選びその情報の番号を数字キーにより入力し、 (国)キーを押して下さい。また、パンフレット等の応募受付のアプリケーションでは自分の電話番号と氏名を入力します。これも基本的にはメニュー検索方式と変わりません。

④ 日経ニューステレコン

日経ニューステレコンは、メニューによる検索とコマンドによる検索の併用となっています。 欲しい情報のメニュー番号を指定したあと、それぞれの情報に併せた検索条件(コマンド)を 入力する形式です。

(4) TSRメニュー検索手順

ここでは、TSRメニューエミュレート機能を使用してのTSR-BIGS企業情報の検索の手順について説明します。

TSR-BIGSのサービスは、専門家向けのコマンド検索形態になっています。

CGシステムでは、利用者の方の利便性を図るために分かり易いメニュー方式によるTSR-BIGSへのアクセス手順を提供します。

具体的には、以下に順を追って説明しますが、検索対象の地域及び資本金範囲のメニュー番号による指定と商号のカタカナ入力による検索を行います。

また、コマンドをメニュー化して検索を容易にするばかりでなく、選択されている検索条件を 画面に表示し、より分かり易くしております。

(a) 起動方法

クリアリングにおいて、データベースの分野より「4.ビジネス分野」の「6.企業財務・企業情報 (日本)」を選択し、さらにその中からTSR-BIGSへの接続を実行することにより起動されます。

なお、クリアリングの手順については「(2)クリアリング手順」をご覧下さい。 TSRメニューエミュレータが起動されると、次のような画面が表示されます。

(b) 検索対象地域指定画面

•	《 ⊤ S	SR-BIGS	企業情報》	
	***	検索対象地域	指定 ***	
0 1 北海道	20青森	2 1 岩手	2 2 宮城	23秋田
2 4 山形	25福島	3 0 茨城	3 1 栃木	3 2 群馬
3 3 埼玉	3 4 千葉	3 5 東京	3 6 神奈川	40新潟
4 1 富山	42石川	4 3 福井	4 4 山梨	4 5 長野
46岐阜	47静岡	4 8 愛知	50三重	5 1 滋賀
5 2 京都	5 3 大阪	5 4 兵庫	5 5 奈良	5 6 和歌山
60鳥取	6 1 鳥根	6 2 岡山	6 3 広島	6 4 山口
7 0 徳島	7.1 香川	7 2 愛媛	7 3 高知	80福岡
8 1 佐賀	8 2 長崎	8 3 熊本	8 4 大分	8 5 宮崎
86鹿児島	8 7沖縄			
* *	指定を行わな	い場合は全国	が対象になりま	ます **
		**	* ヘルプでえ	入力例が見られま
			[f·2]	資本金で検索す

ここで、検索を行いたい地域を指定します。検索対象地域の指定の方法は、

- ① 1つの地域を指定したい場合 該当の地域コードを入力し、「こ」キーを押します。
- ② 2つ以上の地域を指定したい場合 該当の地域コードを「,」でつないで入力し、「囗」キーを押します。 但し、7地域までしか指定できません。
- ③ 連続して地域を指定したい場合 該当の始まりの地域コードと終りの地域コードを「-」でつないで入力し、「」」キー を押します。ここで、地域コードの小さい方を左側に置くように注意して下さい。
- ④ 地域を指定せず、全国を対象としたい場合 f·2 キーを押します。
- の4通りです。②と③の組合せによる指定はできません。 検索対象地域の指定が終わると、次のような画面が表示されます。
- (c) 検索対象資本金範囲指定画面

《 TSR-BIGS 企業情報》

◆検索対象地域 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川

*** 資本金指定 ***

1 100万円未満

6 3000~5000万円未満

2 100~300万円未満

7 5000~1億円未満

3 300~500万円未満

8 1億~5億円未満

4 500~1000万円未満

9 5億~100億円未満

5 1000~3000万円未満

10 100億円以上

** ヘルプで入力例が見られます

55 地域を変更する 77 商号を入力する 99 検索データを表示する

検索デタ件教

ここで、次の行動を選択します。

- ① 資本金範囲を指定したい場合
 - (7) 1つの資本金範囲を指定 該当の資本金範囲番号を入力し、「ユニューを押します。
 - (4) 2つ以上の資本金範囲を指定 該当の資本金範囲番号を「、」でつないで入力し、②サーを押します。 但し、4範囲までしか指定できません。
 - (ウ) 連続して資本金範囲を指定 該当の資本金の資本金範囲番号と終りの資本金範囲番号を「一」でつないで入力し、 「よ」」キーを押します。

地域指定と同様に(イ)(ウ)の組合せによる指定はできません。

資本金の範囲が指定されると、ただちに検索が実行され、該当のデータ件数が表示されます。

ここで、「99」を入力して、<a>J]キーを押すと、検索データを1件ずつ表示することができます。

検索データの表示については、「(e)検索データの表示』をご覧下さい。

- ③ 別の地域で改めて検索をやり直したい場合 「55」を入力して、「即キーを押すと、検索対象地域指定画面に戻ります。

HELP SHIFT + FIT

(d) 商号入力画面

《 TSR-BIGS 企業情報》

- ◆検索対象地域
- 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川
- ◆検索対象資本金

1000~3000万円未満 3000~5000万円未満

5000~1億円未満 1億~5億円未満

*** 商号前号一致検索 ***

商号(企業名)をカタカナで入力(最大40文字)します。法人格を 除いて頭から何文字かを指定するだけで全部指定しなくても検索可能です **指定を行わない場合は商号を検索条件からはずします**

*** ヘルプで入力例が見られます

55 地域を変更する 33 資本金を変更する 99 検索データを表示する

商号の頭に特定の名称のつく会社を検索します。「カナ」キーを押して、カタカナで名称を 入力し、「国」キーを押します。

但し、

- ① 促音・拗音「ッ」「ュ」等は小文字ではなく、大文字を使用します。
- ② 長音は英数モードのハイフンを使用します。
- ③ 英字商号は使用できません。
- ④ 商号の中のピリオド「・」やスペースは入力する必要はありません。
- ⑤ 漢字商号の「日本」は「ニッポン」、「ニホン」のどちらでもできます。

ここで、次の行動を選択します。

- ① 検索データを1件ずつ表示させたい場合 「99」を入力して、② キーを押すと、検索データが1件ずつ表示されます。 検索データの表示については、『(e)検索データの表示』をご覧下さい。
- ② 別の資本金範囲で改めて検索をやり直したい場合 「33」を入力して、[←]]キーを押すと、検索対象資本金範囲指定画面に戻ります
- ③ 別の地域で改めて検索をやり直したい場合 「55」を入力して、「J」キーを押すと、検索対象地域指定画面に戻ります。

(e) 検索データの表示

検索対象資本金指定・商号入力いずれかの画面でデータを検索後、「99」を入力して「型」キーを押すと、検索データを1件ずつ表示することができます。

表示項目は、商号・企業No・郵便番号・住所・電話番号・代表者名・設立年月・営業種目・ 資本金・従業員数の10項目です。

次のように画面に表示されます。

《 TSR-BIGS 企業情報》

商号 ㈱クリアリングコポレーション

企業No 00-009793-1

郵便番号 〒461

住所 愛知県名古屋市東区東山町 35-16

電話番号 000-932-1471

代表者名 田中 一郎

設立年月 昭和25年 4月

営業種目 システムコンサルタント、他

資本金 2,800,000(千円)

従業員数 660名

残りの出力は?

22 データをプリンタへ出力する 11 検索に戻る (f·2) 次データを表示する

データは1件ずつ加工されて表示されます。従って、つづきのデータがある場合は「残りの出力は?」というメッセージが表示されます。 「f·2」キーを押すと次のデータが表示されます。 また、最後のデータの表示が終了した後には、「***データはすべて検索しました」というメッセージが表示されます。

ここで、検索データをプリンタに印字したい場合は、「22」を入力して、 ② 1 キーを押します。 現在表示されているデータがプリンタに印字されます。

検索に戻るには、「11」を入力して、「11」を入力して、「11」を (検索対象資本金範囲指定画面又は商号入力画面)に戻ります。

(f) ヘルプ画面の表示

TSRメニューエミュレータでは、使い易いシステムを実現するため、ファンクションキーの 1つにヘルプ画面を割り当てています。

ヘルプ画面の例

実際のヘルプ画面の例を示します。ヘルプ画面を表示するには、検索対象地域指定画面・ 検索対象資本金指定画面・商号入力画面のいずれかの画面で SHIFT キーを押しながら 「f·7」キーを押します。

次のような画面が表示されます。

《 TSR-BIGS 企業情報》

◇検索条件の入力例

検索対象地域をコードにより指定 <入力例> ◆地域の指定

1つの地域を指定

該当のコート を入力

3.5

2つ以上の地域を指定

コードとコードを、でつなぐ 35,36

(最大7地域まで)

連続して地域を指定

コード とコード をーでつなぐ 35-36

入力がない場合は全国を対象とする

◆資本金の指定

検索対象資本金をコードにより指定

1つの資本金範囲を指定 該当のコードを入力

2つ以上の資本金範囲を指定 コード とコード を、でつなぐ 5、6、7

(最大4範囲まで)

連続して資本金範囲を指定 コード とコード を一でつなぐ 5-9

入力がない場合は全範囲を対象とする

次画面に情報あり

(f·2)次画面

ここで、さらに f·2 | キーを押すと、次のヘルプ画面が表示されます。

《 TSR-BIGS 企業情報》

- ◇検索条件の入力例(つづき)
- ◆商号の指定 法人格を除きそのままカタカナを入力(最大40文字)

<入力例> 「ッ」「ュ」等には小文字ではなく大文字を使用のこと

旭化成工業株式会社

アサヒカセイコウギヨウ

長音は英数モードのハイフンを使用のこと

株式会社イトーヨーカ堂

イトーヨーカードウ

英字商号は使用不可

NOK株式会社

エヌオーケー

商号の中のピリオドやスペースは入力不要

オリエント・リース株式会社 オリエントリース

入力がない場合は商号を検索条件からはずす。

前画面次画面に情報あり

(f·2) 次画面 (f·3) 前画面

さらに | f·2 | キーを押すと、次のヘルプ画面が表示されます。

《 TSR-BIGS 企業情報》

◇コマンドガイド

コマンド 機 能 対応キー

検索終了 検索を終了しクリアリング検索画面に戻る SHIFT + F9

ログオフ 検索を終了しログオフする SHIFT + F10

次画面 つづく画面を表示する F2

前画面 前の画面を表示する F3

出力から検索に戻る 11

再送 現在表示中の画面を再送する F4

注 次画面, 再送コマンドはヘルプ及び検索中の場合のみ使用可能

前画面に情報あり

(f·3) 前画面

前のヘルプ画面に戻るには、「f·3」キーを押します。

ヘルプ画面から検索画面に戻るには、再度 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押します。

(g) 終了

TSRメニューエミュレータを終了するには、 SHIFT + f·9 又は SHIFT + f·10 を使用します。

検索対象地域指定画面・検索対象資本金指定画面・商号入力画面のいずれかの画面で SHIFT キーを押しながら f·9 キーを押すと、クリアリング・データベースに戻ります。

SHIFT キーを押しながら f·10 キーを押すと、CGシステムからも切断されます。

(h) エラー・メッセージとその対策

ここでは、TSRメニューエミュレート機能使用時に、検索が正常に行われない場合のエラー・メッセージとその処理方法について紹介します。

尚、「お問合わせ先」については、「2章サービス時間とお問合わせ先」をご覧下さい。

エラー・メッセージ/トラブル	原因	処 理 方 法
「***ファンクションキー 入力エラーです」	各処理画面にて入力できな ファンクションキーが 押された。	い 各処理画面にて正しい ファンクションキーを押す。
「***処理番号指定エラー です」	各処理画面にて入力できな 処理番号が入力された。	い 各処理画面にて正しい処理番号を 入力する。
「***DBH送信エラー」 メッセージ表示後、TSR メニューエミュレート機能が 終了する。	TSR-BIGSと交信中 送信エラーが発生した。	、「お問合わせ先」に連絡する。
「***DBH受信エラー」 メッセージ表示後、TSR メニューエミュレート機能が 終了する。	TSR-BIGSと交信中 受信エラーが発生した。	、「お問合わせ先」に連絡する。
「***From DBH: NAK」	TSR-BIGSと交信中 回線雑音等の障害が発生し 正常に受信されなかった。	
「***From DBH: PnnnF・・・・」	検索範囲が大きかったり、 商号に該当するデータが多 場合、頻繁に発生する。	速やかに検索を終了する。
「***数字以外の文字が あります」	地域コード、資本金コード に文字がある、もしくは 意味のない文字列が入力 された。	内 正しい地域コード、資本金コード もしくは処理番号を入力する。

エラー・メッセージ/トラブル	原 因	処 理 方 法
「***指定された地域コー ドは存在しません」	入力された数字は地域コード でもなく処理番号でもない。	正しい地域コード、もしくは 処理番号を入力する。
「***',','-',EOS以外 の文字があります」	複数指定もしくは範囲指定で 入力方法に誤りがある。	正しい地域コード、資本金コード もしくは処理番号を入力する。
「***数字コードが多すぎ ます」	複数指定で地域コード数が 8つ以上、もしくは資本金 コードが5つ以上ある。	地域コード数を7つ以内、 もしくは資本金コードを4つ以内 にする。
「***',',EOS以外の 文字があります」	複数指定で入力方法に誤りが ある。	正しいフォーマットで、 地域コードもしくは資本金コード を指定する。
「***同じ数字コードが 指定してあります」	複数指定で同じ地域コード、 もしくは資本金コードが ある。	すべて異なる地域コード、 もしくは資本金コードを正しい フォーマットで指定する。
「***最初の数字が大きいか等しいです」	範囲指定で最初の地域コード もしくは資本金コードが大き い。	正しいフォーマットで、 地域コードもしくは資本金コード を指定する。
「***EOS以外の文字が あります」	範囲指定で入力方法に誤りが ある。	正しいフォーマットで、 地域コードもしくは資本金コード を指定する。
「***指定された資本金 コードは存在しません」	入力された数字は資本金 コードでもなく、処理番号 でもない。	正しい資本金コード、もしくは 処理番号を入力する。
「***検索データはありま せん」	該当の検索データがないのに 検索データ表示を指定した。	資本金範囲指定からやり直す。

エラー・メッセージ/トラブル	原	因	処	理	方	法
「***この資本金範囲では 検索データはありません」	指定地域、資本 する検索データ 商号検索を指定	がないのに、	検索データ			肯定以外の
「***商号カタカナ,'-' 以外の文字があります」	商号に半角カタ の'-'以外の文		商号を半り '-' で指り 指定する。	定するだ		
「***商号の長さが40 文字を超えています」	商号の文字列の 文字以上ある。	長さが40	商号の文章		長さをで	10文字
「***商号のカタカナの 長さがゼロです」	(RETURN 押された。	[] のみが	商号ならなら数字			心理番号
「***データはすべて検索 しました」	該当の検索デー 表示したのに、 データ表示を排	次の検索	次の検索 指定する。		表示以外	外の処理を
「***印字エラーです。 再試行して下さい」	現在表示中の校 印字しようとし が出た。		プリンタ. してある			しくセットる。
「***データはすでに印字 しました」	現在表示中の核 すでに印字した 印字指定があっ	このに、また	印字以外	の処理	を指定・	する。

6章 ファンクションキーの説明

このCGシステムでは、通常のファンクションキー $f\cdot 1$ から $f\cdot 10$ の10 個と、 SHIFT キーを押しながらそれらのキーを押すことによって実行される10 個の計20 個のファンクションを実行できるようになっています。この SHIFT キーを同時に押して実行されるコマンドを標準コマンドと呼び、この標準コマンドは、CGシステムの中では、どのDBセンタ接続中でも共通の意味を持っています。

また、 $f \cdot 1$ から $f \cdot 10$ のファンクションキーは、ゲートウェイ中は各々のDBセンタで使用しているファンクションを実行し、クリアリング検索中は、CGシステム固有のコマンドとなります。

☆CGシステムで使用できるファンクションキーの意味

ファンクションキー	コマンドの意味	分	類
$\boxed{ f \cdot 1 } \sim \boxed{ f \cdot 10 }$	クリアリング時、CGセンタのコマンド ゲートウェイ時、DBセンタ特有のコマンド	С	D
SHIFT + f·1	ハードコピー	С	G
SHIFT + f·2	同時プリント	С	G
SHIFT + f·3	ブレイク送信		G
SHIFT + f·4	ローカルモード処理移行	С	G
SHIFT + f·5	ファンクションキー再設定	С	G
SHIFT + f·7	ヘルプ表示	С	G
SHIFT + f·9	検索終了		G
SHIFT + f·10	ログオフ	С	G

分類記号の意味…… C:クリアリング時使用できるコマンド

G:ゲートウェイ時使用できるコマンド

D: DBセンタファンクションコマンド

(1) 標準コマンド

(a)
$$SHIFT + f \cdot 1$$
 $N-kae-$

画面に表示中の情報をプリンタにハードコピーするためのコマンドです。

SHIFT キーを押しながら f·1 キーを押すと画面に表示されている情報をそのままプリンタに出力できます。

どの画面においてもハードコピーは可能ですが、NAPLPS画像(情報)のハードコピーは、 ビデオプリンタしか実現できませんからこのコマンドの実行には注意が必要です。

(ドットプリンタ、レーザプリンタなどに出力しても結果は保証できません。)

ASCII情報検索時に、検索情報を画面とプリンタに同時に出力するためのコマンドです。 ASCII情報検索時に、 SHIFT キーを押しながら f・2 キーを押すと同時プリントモードとなり、以後の検索結果が画面とプリンタに同時に出力することができます。 同時プリントモード中に再び SHIFT キーを押しながら f・2 キーを押すと

同時プリントモード中に再び SHIFT キーを押しながら f·2 キーを押すと同時プリントモードを終了し、画面のみの表示となります。

NAPLPS情報検索(情報表示)時は、同時プリントを行うことができず、このコマンドは無視されます。

送信されて来るデータを中断又は中止するためのコマンドです。

SHIFT キーを押しながら $f \cdot 3$ キーを押すと表示 (出力) 中の情報を中断、又は中止することができます。

ただし、各DBセンタによって、この後の処理が異なりますので注意が必要です。

(d) SHIFT + f·4 ローカル処理移行

オンライン接続中のまま、オンラインローカルメニューを表示し、端末ローカル処理モード に移行するためのコマンドです。

SHIFT キーを押しながら $f \cdot 4$ キーを押すと端末ローカル処理モードに移行し、アップロード/ダウンロード、スプーリングなどを実行することができます。

① アップロード

ASCII情報検索時に内部形式で作成されたファイルを読み出し、通信コードに変換して送信する機能です。

- ② ダウンロード ASCII情報検索時に検索した結果を内部形式に変換してファイルに書出す機能です。
- ③ スプーリング DBセンタ検索中あるいは、クリアリング中、いかなる場合でも検索した結果をその ままファイルに書出す機能です。

これら3つの機能の使用方法については、「7章 端末ローカル処理の手順」をご覧下さい。

(e) SHIFT + f·5 ファンクションキー再設定

設定されているファンクションキーのコードを再び設定するためのコマンドです。

ファンクションキーの設定が壊れてしまい、その機能を果たせなくなったとき、

SHIFT キーを押しながら $f \cdot 5$ キーを押すことによって、全てのファンクションキーを再設定することができます。

だだし、 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} f \cdot 5 \end{bmatrix}$ キーもその機能を果たせなくなってしまったときは、端末から「F15」又は、「f15」を入力し、「 $\begin{bmatrix} 2 \end{bmatrix}$ キーを押すことによって、この機能と同じ機能を果たすことができます。

(f) SHIFT + f·7 ヘルプ表示

検索方法やDBセンタヘルプ画面を表示するためのコマンドです。

 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f \cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押すと、ヘルプ画面を表示することができます。

ヘルプ画面からは、再び SHIFT キーを押しながら f·7 キーを押すと、 もとの画面に戻ります。

ゲートウェイ検索を終了するためのコマンドです。

ゲートウェイ検索中、どの画面、位置にあっても $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 9 \end{bmatrix}$ キーを押すとそのDBセンタからログオフし、クリアリング検索画面に戻ることができます。

ゲートウェイ検索を終了し、かつ、CGセンタからもログオフするためのコマンドです。 ゲートウェイ検索中、どの画面、位置にあっても \boxed{SHIFT} キーを押しながら $\boxed{f\cdot 10}$ キーを押すとそのDBセンタからログオフし、CGセンタからもログオフすることができます。

(i)
$$SHIFT + f \cdot 6 \geq SHIFT + f \cdot 8$$

標準コマンドとしては、現在設定されていません。 (予備のコマンド)

(2) クリアリング検索時のファンクションキー

ファンクションキーの $\begin{bmatrix} f \cdot 1 \end{bmatrix} \sim \begin{bmatrix} f \cdot 10 \end{bmatrix}$ は、クリアリング検索時は、CGシステム 固有のファンクションとなり、ゲートウェイ検索時は、各々のDBセンタ固有のファンクション となります。

ここでは、クリアリング検索時のファンクションキーの意味について説明します。

(各DBセンタのファンクションキーの意味については、それぞれのDBセンタのユーザマニュアルを参照して下さい。)

(a) f·1 CGシステムトップメニューへの画面移動

クリアリング検索中は、どの画面の表示中でもこの f·1 キーの入力によって最初の画面(ログオン後、最初に表示される画面)に戻ることができます。

(ただし、このキーを押すとそれまで覚えていた検索履歴を全て消去してしまいますので、 f・3 キーを押してもこの画面以前の画面には、戻ることができません。)

(b) f·2 次画面への移動

クリアリング検索は、通常は、メニュー選択肢を選んでの画面移動になりますが、画面の 説明文章が1画面ではなく、複数画面となっている場合、 f·2 キーを押すことによっ て次の画面に移動することができます。

(c) f・3 前の画面への移動(検索履歴の移動)

クリアリング検索中は、その検索した履歴を最新の20個まで保持してあり、この f・3 キーを押すとその検索した以前の画面に順番に戻ることができます。 この移動によって検索履歴は、1つずつ減っていきます。

(d) f·4 画面の再表示 (再送)

クリアリング検索中、回線エラー等によってデータが正常に画面に表示されなかった時、この $\boxed{\mathbf{f}\cdot\mathbf{4}}$ キーを押すことによって、再度、同じ画面を表示させることができます。

(e) **f** · 5 **直前のメニュー画面への移動**

この f·5 キーを押すと、1階層上のメニュー画面に移動します。 もし、トップメニュー画面で、このキーを押しても移動しません。

 (f)
 f・7
 DBセンタへの接続開始(ゲートウェイ開始)

 DBセンタ接続画面(ゲートウェイ要求画面)でこの f・7
 キーを押すと、DB

 センタへの接続を開始します。

このキーは、DBセンタ接続画面でしか使用できません。

(g) $f \cdot 6$ $f \cdot 8$ $f \cdot 9$ $f \cdot 10$

クリアリング検索中は、これら4つのキーを押しても全て無視されるか、又はエラーとなります。

(3) クリアリング検索時の標準コマンド

クリアリング検索中も標準コマンドを使用することができますが、次にあげる標準コマンドは、DBセンタ接続中と違った動作をします。

(a) SHIFT + f·7 ヘルプ表示

クリアリング検索中の画面でその画面がヘルプ画面(解説補助画面)を持つ場合、

 $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押すと、そのヘルプ画面に移動します。 ヘルプ画面からは、同じく $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 7 \end{bmatrix}$ キーを押すと元の 案内画面に戻ります。

(b) SHIFT + f·10 ログオフ

クリアリング検索を終了し、ログオフします。 どの画面の表示中でも $\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix}$ キーを押しながら $\begin{bmatrix} f\cdot 10 \end{bmatrix}$ キーを押すとログオフすることができます。

(c) $SHIFT + [f \cdot 3] + [f \cdot 9]$

使用することは、できません。

7章 端末ローカル処理の手順

端末ローカル処理には、オンライン接続中とオフライン中の2つの処理があります。オンライン中に実行できる端末ローカル処理には、アップロード/ダウンロード、スプーリングがあります。 オフライン中に実行できる端末ローカル処理には、オンライン接続のためのセットアップ、スプールされたファイルを画面に表示するスプールファイル再生があります。

- (1) オンライン中の端末ローカル処理手順
 - (a) ローカル処理モードへの移行

オンライン接続中に、アップロード/ダウンロード、スプーリングを行うためには、まず、 ローカル処理モードへ移行しなければなりません。

ローカル処理モードへは、 SHIFT キーを押しながら f·4 キーを押すことによって移行できます。

ローカル処理モードに移行すると画面にオンラインローカルメニューが表示されます。 (この時、センタとの回線は接続されたままです。)

** オンラインローカルメニュー **

- 1. アップロード
- 2. ダウンロード
- · 3. スプーリング
 - 4. MS-DOSコマンドの実行
 - 9. オンラインに戻る

オンラインローカルメニューには、アップロード/ダウンロード、スプーリング、MS-DOSコマンドモードの選択肢があり、また「9」を入力して②リキーを押すと元のオンライン状態に戻ります。

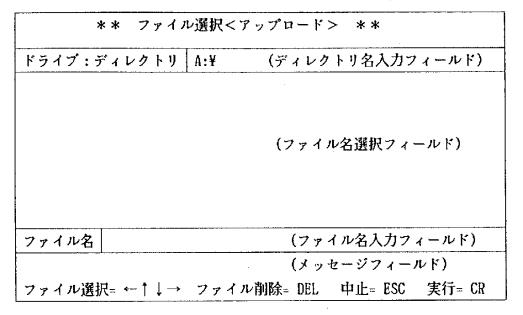
ここで、以下の入力をすることによって各々の処理を行うことができます。

1	アップロード処理に移ります。
2	ダウンロード処理に移ります。
3	スプーリング処理に移ります。
4	MS-DOSモードとなります。

。コマンド 木を送信

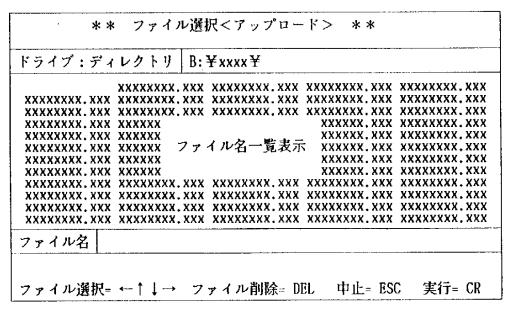
- (b) アップロード 。 *や*い (b) アップロードは、ASCII 検索中に内部形式で作成されたファイルの内容をホストに送信るための機能です。
- ① ディレクトリ名の入力

「アップロード」を選択すると次のような画面が表示されます。



「ディレクトリ名入力フィールド」にアップロードしたいファイルのあるディレクトリ名を (ドライブ名も含めて) 入力して [4] キーを押すと、「ファイル名選択フィールド」にそのデレクトリにあるファイル名が表示されます。

② ファイル名の選択、又は入力



「ファイル名選択フィールド」に表示されているファイル名の中からアップロードしたいファイルをカーソルキー(\leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrow)を押すことによって選択し、 \longleftarrow 押して下さい。 (この時、選択中のファイル名が自動的に「ファイル名入力フィールド」に表示されます。)

また、選択カーソルが左上の空白域にある時は、「ファイル名入力フィールド」にファイル名を入力することができます。ここにアップロードしたいファイル名を入力して、「シーキーを押して下さい。(初期状態では、この位置にカーソルがあります。)

カーソルキー | ↑ | を押して、「ディレクトリ名入力フィールド」行まで、カーソルを移動させるとディレクトリ名を再入力することができます。

③ 中止

ESC キーを押すと処理を中止して、オンラインローカルメニューに戻ります。

④ ファイル削除

ファイルを選択、又は入力し、 DEL キーを押すとそのファイルを削除することができます。

⑤ アップロード

通常にファイルを選択、又は入力して「よりキーを押すとオンラインローカルメニューに戻り、 次のように「アップロード」選択メッセージのところに「準備完了」という文字が表示されます。 (アップロード処理を中止してこの画面に戻ったときには、この文字は表示されません。)

** オンラインローカルメニュー **

- 1. アップロード
- 準備完了
- 2. ダウンロード
- 3. スプーリング
- MS-DOSコマンドの実行
- オンラインに戻る

ここで、「9. オンラインに戻る」を選択し<u></u> 1キーを押すと、アップロード処理において選択、又は入力したファイルの内容が読み出されてセンタに転送されます。(アップロードは、オンラインに戻ったときに行われます。)

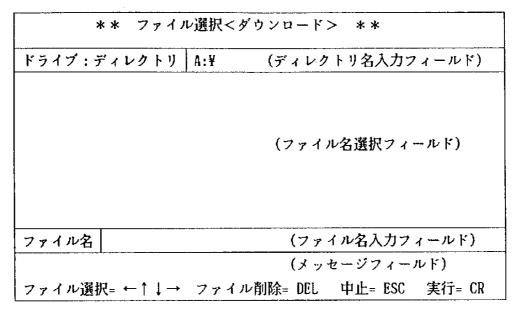
また、ここで他の選択肢(「2. ダウンロード」や「3. スプーリング」など)を選択することができますが、再度「1. アップロード」を選択すると以前に完了したアップロード処理がキャンセルされます。

(c) ダウンロード

ダウンロードは、ASCII検索中に検索した結果を内部形式のコードに変換してファイルに書き出す機能です。

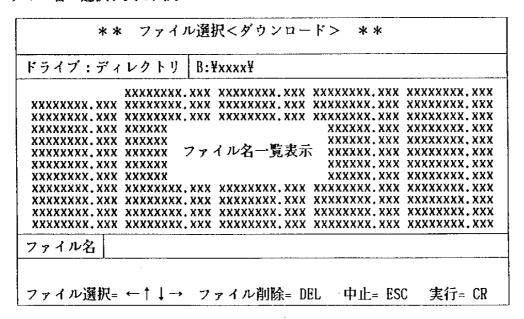
① ディレクトリ名の入力

「ダウンロード」を選択すると次のような画面が表示されます。



「ディレクトリ名入力フィールド」にダウンロードしたいディレクトリ名を(ドライブ名も含めて)入力して[___]キーを押すと、「ファイル名選択フィールド」にそのディレクトリにあるファイル名が表示されます。

② ファイル名の選択、又は入力



③ 中止

ESC キーを押すと処理を中止して、オンラインローカルメニューに戻ります。

④ ファイル削除

ファイルを選択、又は入力し、 DEL キーを押すとそのファイルを削除することができます。

⑤ ダウンロード

通常にファイルを選択、又は入力して「」キーを押すと、もしそのファイルが存在した場合 (特にファイルを選択した場合) は、画面下部の「メッセージフィールド」に

「上書きしますか? (Y/N)」

というメッセージが表示されます。

ここで、以下のような入力を行うことによって、指定したファイルへの情報の書き出しモード を決定できます。

Y

: ダウンロードした結果を指定したファイルに上書きします。

N 🚚

: ダウンロードした結果を指定したファイルに追加します。

(デフォルトは、「N」で、「Jートーのみの場合は、追加モードとなります。)

この入力の後、オンラインローカルメニューに戻り、次のように「ダウンロード」選択メッセージのところに「実行中」という文字が表示されます。(ダウンロード処理を中止してこの画面に戻ったときには、この文字は表示されません。)

** オンラインローカルメニュー **

- アップロード
- 2. ダウンロード 実行中
- 3. スプーリング
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. オンラインに戻る

ここで、「9. オンラインに戻る」を選択し、 リキーを押すと、オンライン状態 (ローカル処理モードに移る前の状態) に戻り、その後の検索結果がすべてダウンロード処理において選択、又は入力したファイルに書き出されます。

また、「2. ダウンロード 実行中」の表示がある時にこの「2. ダウンロード」を選択すると、実行中のダウンロード処理がキャンセルされます。(ダウンロードは、このキャンセル処理を行うまでの間有効となり、その間の情報をすべてファイルに書き出します。)

(d) スプーリング

スプーリングは、ASCII、NAPLPS検索中に検索した結果をファイルに書き出す機能です。

この機能によって作成されたファイルは、オフラインローカル処理のスプールファイル再生機能を用いて、画面に表示させることができます。

スプールファイルの再生については、この章の「(2)(d)スプールファイルの再生」を参考にして下さい。

① ディレクトリ名の入力

「スプーリング」を選択すると次のような画面が表示されます。

*	* ファイル選択	<スプーリング> **
ドライブ:デ	イレクトリ A:Y	(ディレクトリ名入力フィールド)
		(ファイル名選択フィールド)
ファイル名		(ファイル名入力フィールド) (メッセージフィールド)
ファイル選択	= ←↑↓→ ファ·	イル削除= DEL 中止= ESC 実行= CR

「ディレクトリ名入力フィールド」にスプーリングしたいディレクトリ名を(ドライブ名も含めて)入力して (アライル名選択フィールド) にそのディレクトリにあるファイル名が表示されます。

② ファイル名の選択、又は入力

ライブ:ディ	レクトリ	B:\xxxx\
	xxxxxxxx.	XXX XXXXXXX,XXX XXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXX
(XXXXXXX, XXX	XXXXXXXX.	XXX XXXXXXX,XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
(XXXXXXXX XXX	XXXXXXXX.	XXX XXXXXXXX,XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXX.XXX	XXXXXX	XXXXXX.XXX XXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXX.XXX	XXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXX.XXX	XXXXXX 7	ファイル名一覧表示 XXXXXX.XXX XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXX.XXX		XXXXXXX XXX XXXXXXXX XXX
XXXXXXXX.XXX		XXXXXX.XXX XXXXXXXXXXXXXXXXX
		XXX XXXXXXXX.XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
		XXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
		XXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
•		·
********	XXXXXXXX.	XXX XXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
ァイル名		
アイル石		

「ファイル名選択フィールド」に表示されているファイル名の中からスプーリングしたいファイルをカーソルキー (\leftarrow \uparrow \downarrow \rightarrow)を押すことによって選択し、 \bigcirc キーを押して下さい。(この時、選択中のファイル名が自動的に「ファイル名入力フィールド」に表示されます。)

また、選択カーソルが左上の空白域にある時は、「ファイル名入力フィールド」にファイル名を入力することができます。ここにスプーリングしたいファイル名を入力して、 ② キーを押して下さい。 (初期状態では、この位置にカーソルがあります。)

カーソルキー | ↑ を押して、「ディレクトリ名入力フィールド」行まで、カーソルを移動させるとディレクトリ名を再入力することができます。

③ 中止

ESC キーを押すと処理を中止して、オンラインローカルメニューに戻ります。

④ ファイル削除

ファイルを選択、又は入力し、 DEL キーを押すとそのファイルを削除することができます。

⑤ スプーリング

通常にファイルを選択、又は入力して「よりキーを押すと、オンラインローカルメニューに戻り、次のように「スプーリング」選択メッセージのところに「実行中」という文字が表示されます。 (スプーリング処理を中止してこの画面に戻ったときには、この文字は表示されません。) スプーリングの場合、ファイルへの書込みモードは、必ず上書きモードとなります。

** オンラインローカルメニュー **

- 1. アップロード
- 2. ダウンロード
- 3. スプーリング 実行中
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. オンラインに戻る

ここで、「9. オンラインに戻る」を選択し<u>し</u>リキーを押すと、オンライン状態(ローカル処理モードに移る前の状態)に戻り、その後の検索結果がすべてスプーリング処理において選択、又は入力したファイルに書き出されます。

また、「3. スプーリング 実行中」の表示がある時にこの「3. スプーリング」を選択すると、実行中のスプーリング処理がキャンセルされます。(スプーリングは、このキャンセル処理を行うまでの間有効となり、その間の情報をすべてファイルに書き出します。)

(e) MS-DOSコマンドの実行

「MS-DOSコマンドの実行」を選択すると、次のような画面が表示されます。

Command バージョン X. XXA

MS-DOSのコマンド (dirなど) を実行することができます。(ただし、メモリを多く必要とするコマンドやアプリケーションは、実行できない場合があります。)
MS-DOSの環境から、exitと入力して

リニューに戻ります。

(2) オフライン中の端末ローカル処理手順

オフライン中のローカル処理には、オンライン接続のために必要な情報を設定するセット アップ処理とスプールされたファイルをあたかもセンタから受信したかのように画面に表示するスプールファイル再生処理の2つがあります。

これらは、CG端末ソフト立ち上げ後又は、オンライン接続終了後に表示される初期メニュー画面から選択番号を入力することによって、処理を実行することができます。

(a) 初期メニュー画面

CG端末ソフト立上げ後及びオンライン接続終了後、初期メニュー画面が表示されます。

** 初期メニュー画面 **

- 1. センタへの接続
- 2. セットアップ
- 3. スプールファイルの再生
- 4. MS-DOSコマンドの実行
- 9. 終了 (MS-DOSに戻る)

ここで、以下のように入力することによって、それぞれの処理を行うことができます。

- 1 ② センタへの接続を開始します。
- 2 ② セットアップ処理に移ります。
- 3 ② スプールファイル再生処理に移ります。
- 4 🗐 MS-DOSモードとなります。
- ┃ 9 ┃ ☑ ┃ CG端末ソフトを終了しMS-DOSに戻ります。

(b) センタへの接続

セットアップ処理によって設定された項目に従ってCGセンタへの接続を開始します。

(c) セットアップ

セットアップ処理は、センタに接続するためのデータファイルを作成するためのユーティリティです。

「本運用実験においては、CG端末ソフト配布時、既にセットアップ処理をおこなっておりますので、利用者の方はこの処理は不要です。」

起動されると次のようなセットアップ画面が表示されます。

** セットアッ	プメニュー **	
◆ 回線接続条件	•	
通信速度	[300 600 1200 2400 4800 9600]	
ビット長パリティ	[8bit-None 7bit-Even 7bit-Odd]	
ストップビット長	[lbit 2bit]	
フロー制御	[XON/XOFF None]	
◆ プレゼンテーシ	/ョン環境 <ascii> ◆</ascii>	
符号系	[8bit 7bit]	
送信モード	[Character Block]	
送信ターミネータ	[CR CR/LF LF]	
ローカルエコー	[OFF ON]	
◆ プレゼンテージ	/ョン環境 <naplps> ◆</naplps>	
符号系	[8bit 7bit]	
送信モード	[Block Character]	
送信ターミネータ	[SDC CR CR/LF]	
ローカルエコー	[ON OFF]	
◆ オートダイアル	レ/オートログインの設定 ◆	
モデムコマンド	[ATDP ATDT CRN]	
電話番号	[
ユーザ I D	[] .	

シー設定力を 設定は、	カーソルキー (←
(7) 設定項	頁目の移動
1	下方向の設定項目に移動します。(最下部でこのキーを押すと最上部の設定項目 へ移動します。)
1	上方向の設定項目に移動します。(最上部でこのキーを押すと最下部の設定項目 へ移動します。)
(4)項目の	の選択
・選択リ	頂目のある項目は、反転表示カーソルを移動させることによって設定します。
$\boxed{\rightarrow}$	右方向に反転表示カーソルを移動します。
←	左方向に反転表示カーソルを移動します。
・入力の す。	の必要のある項目は、その入力域に目的の英数字を入力することによって設定しま
(ウ) 設定の	の完了

② 回線接続条件

回線関係の各項目は、その選択項目の中から1つ選んで反転表示させることによって設定 します。(網掛けされた項目が初期設定値です。)

(7) 通信速度

300: 端末とモデム間の通信速度を 300 b/s に設定する600: 端末とモデム間の通信速度を 600 bit/s に設定する1200: 端末とモデム間の通信速度を 1200 bit/s に設定する2400: 端末とモデム間の通信速度を 2400 bit/s に設定する4800: 端末とモデム間の通信速度を 4800 bit/s に設定する9600: 端末とモデム間の通信速度を 9600 bit/s に設定する

(イ) ビット長パリティ

8bit None : ビット長パリティを 8 ビットデータ長 パリティなしに設定する 7bit-Even : ビット長パリティを 7 ビットデータ長 偶数パリティに設定する 7bit-Odd : ビット長パリティを 7 ビットデータ長 奇数パリティに設定する

(ウ) ストップビット長

 1bit
 : ストップビット長を1 ビットに設定する

 2bit
 : ストップビット長を2 ビットに設定する

(1) フロー制御

XON/XOFF : XON/XOFFによるフロー制御を行うように設定する

None : フロー制御を行わないように設定する

③ プレゼンテーション環境

ASCII/NAPLPS表示時の環境を選択項目の中から1つ選んで反転表示させるこ とによって設定します。

(この環境設定値は、CGシステムで使用するときは、変更しないで下さい。

特にNAPLPSの設定値を変更すると入力ができなくなることがあります。)

(7) 符号系

(ASCII、NAPLPSの両モード)

8bit

: 8ビット符号環境に設定する

7bit

: 7ビット符号環境に設定する

(イ) 送信モード

(NAPLPS、ASCIIの両モード)

: 入力モードをブロック単位に設定する

Character: 入力モードをキャラクタ単位に設定する

(ウ) 送信ターミネータ

(ASCIIモード)

CR

: 送信ターミネータをCRに設定する

CR/LF

-: 送信ターミネータをCR-LFに設定する

LF

: 送信ターミネータをLFに設定する

(NAPLPSE-F)

SDC

: 送信ターミネータをSDCに設定する

CR

: 送信ターミネータをCRに設定する

CR/LF

: 送信ターミネータをCR-LFに設定する

(1) ローカルエコー

(NAPLPS、ASCIIの両モード)

ON

-: ローカルエコーを行うように設定にする

OFF

: ローカルエコーを行わないように設定にする

④ オートダイアル/オートログインの設定

CGセンタへのオートダイアル用のコマンドと電話番号及びオートログイン用のユーザ IDの設定を行います。

(この設定を変更してしまうと、CGセンタにログインできなくなることがありますので変更しないで下さい。)

(ア) モデムコマンド

選択項目の中から1つ選んで反転表示させることによって設定します。

ATDP: モデムコマンドをATコマンドのダイアル用に設定する

ATDT: モデムコマンドをATコマンドのプッシュホン用に設定する

CRN: モデムコマンドをCCITT V.25 bisコマンドに設定する

(4) 電話番号

CGセンタの電話番号を半角数字で入力することによって設定します。

(ウ) ユーザ [D

CGセンタへのログインユーザIDを半角英数字で入力することによって設定します。

⑤ 初期設定値

最初は、各項目ともに初期設定値がとられており、1度設定すると以後それが初期設定値 となります。

☆回線接続条件初期値

· 通信速度

: 1200

・ ビット長パリティ : 8bit-None

· ストップビット長 : 1bit

· フロー制御 : XON/XOFF (行う)

☆プレゼンテーション環境初期値<ASCII>

・符号系

: 8bit

・送信モード : Character

・送信ターミネータ : CR

・ローカルエコー : OFF (行わない)

☆プレゼンテーション環境初期値<NAPLPS>

・符号系

: Sbit

・送信モード

: Block

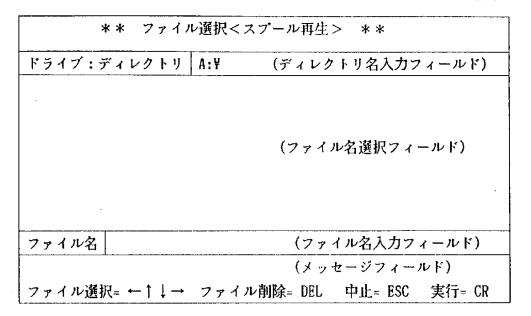
・送信ターミネータ : SDC

・ローカルエコー : ON (行う)

(d) スプールファイルの再生(表示)

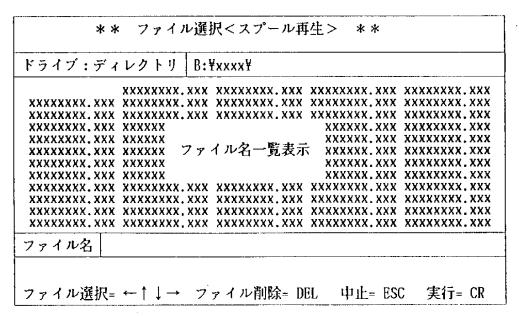
オンラインローカル処理のスプーリング機能を使用して作成されたファイルをあたかもセンタ から受信したかのように画面に再生(表示)する機能です。

① 「スプールファイルの再生」を選択すると次のようなファイル選択画面が表示されます。



「ディレクトリ名入力フィールド」に表示したいファイルのあるディレクトリ名を(ドライブ名も含めて)入力して「ショキーを押すと「ファイル名選択フィールド」にそのディレクトリにあるファイル名が表示されます。

② ファイル名の選択、又は入力



「ファイル名選択フィールド」に表示されているファイル名の中から画面に表示したいファイルをカーソルキー (← ↑ ↑ ↓ →) を押すことによって選択し、 □ キーを押して下さい。 (この時、選択中のファイル名が自動的に「ファイル名入力フィールド」に表示されます。)

また、選択カーソルが左上の空白域にある時は、「ファイル名入力フィールド」にファイル名を入力することができます。

ここに画面に表示したいファイル名を入力して、 ② キーを押して下さい。 (初期状態では、この位置にカーソルがあります。)

カーソルキー <u>†</u> を押して、「ディレクトリ名入力フィールド」行まで、カーソルを移動させるとディレクトリ名を再入力することができます。

③ 中止

ESC キーを押すと処理を中止して、初期メニュー画面に戻ります。

- ④ ファイル削除ファイルを選択、又は入力し、 DEL キーを押すとそのファイルを削除することができます。
- ⑤ スプールファイル再生 通常にファイルを選択、又は入力して「ユリキーを押すと画面に指定したファイルの内容が表示 されます。
- ⑥ 画面表示後は、「二」キーを押すと初期メニュー画面に戻ります。

(e) MS-DOSコマンドの実行

「MS-DOSコマンドの実行」を選択すると、次のような画面が表示されます。

Command バージョン X. XX

A >

CG端末ソフトを終了せず、ローカルにMS-DOSの環境に移行します。

MS-DOSのコマンド(dirなど)を実行することができます。(ただし、メモリを 多く必要とするコマンドやアプリケーションは、実行できない場合があります。)

MS-DOSの環境から、exitと入力して、リキーを押すと初期メニュー画面に戻ります。

(f) 終了 (MS-DOSに戻る)

CG端末ソフトを終了します。

8章 操作上の注意事項

- (a) DBセンタからの検索終了、ログオフは、CGシステムの標準コマンドの検索終了コマンド ($\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} f \cdot 9 \end{bmatrix}$) 又は、ログオフコマンド($\begin{bmatrix} SHIFT \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} f \cdot 10 \end{bmatrix}$)を使用して下さい。
- (b) テレガイドDB検索中、画面にメッセージとして表示される OK キーは、 足 キーに 相当します。
- (c) アップロード/ダウンロード、同時プリントは、ASCII表示時でしか使用できません。
- (d) NAPLPSハードコピーは、ビデオプリンタのみ実行可能です。

なお、各データベースサービスの表示方法を、次に示します。

データベースサービス名	表示方法		
	ASCII	NAPLPS	
TSR-BIGS	0		
TSR-BIGS (TSRメニューエミュレータ使用)		0	
テクノマート		0	
テレガイド		0	
日経ニューステレコン	0		

•		
	•	

9章 異常時の対処方法

CGセンタ並びにDBセンタへの接続及び検索が正常に行われない場合のエラー・

メッセージとその処理方法について紹介します。

尚、再試行しても異常の場合には、「お問合わせ先」に連絡して下さい。

⑴ CGセンタ接続時のエラー・メッセージ

エラー・メッセージ	原 因	処 理 方 法
パスワード が違います	パスワードの入力誤り。	正しいパスワードを大・小文字等に 注意して、入力し直して下さい。
パーソナルID が違います	パーソナルIDの入力誤り。	正しいパーソナル I Dを大・小文字等に 注意して、入力し直して下さい。

(2) DBセンタ接続時のエラー・メッセージ

エラー・メッセージ	原 因	処 理 方 法
回線が 使用中です	DBセンタへの回線が使用中です。	回線が使用中ですので、もう一度、 クリアリング検索画面からやり直して下 さい。
接続に失敗しました	DBセンタとの接続時に回線 異常が発生した。	何らかの原因で回線異常となったので、 もう一度、
ログイン できません	DBセンタとのログイン時に 回線異常が発生した。	クリアリング検索画面からやり直して下 さい。

(3) 検索時のエラー・メッセージ

エラー・メッセージ	原 因	処 理 方 法		
回線に異常 が発生しました	DBセンタとの検索中に 回線異常が発生した。	何らかの原因で回線異常となったので、 もう一度、 クリアリング検索画面からやり直して下 さい。		
タイムアウトです	DBセンタとの間で 5 分間 入力が行われなかった。	検索を続ける場合には、もう一度、 クリアリング検索画面からやり直して下 さい。		
強制終了 されました	CGセンタがサービス終了 時間に達した。	翌サービス日に、あらためてご利用願います。		
	CGセンタがシステム異常 により休止した。	「お問合わせ先」に連絡して下さい。		

10章 その他

- ◆ 各データベース検索時の必要マニュアル
- ・日経ニューステレコン

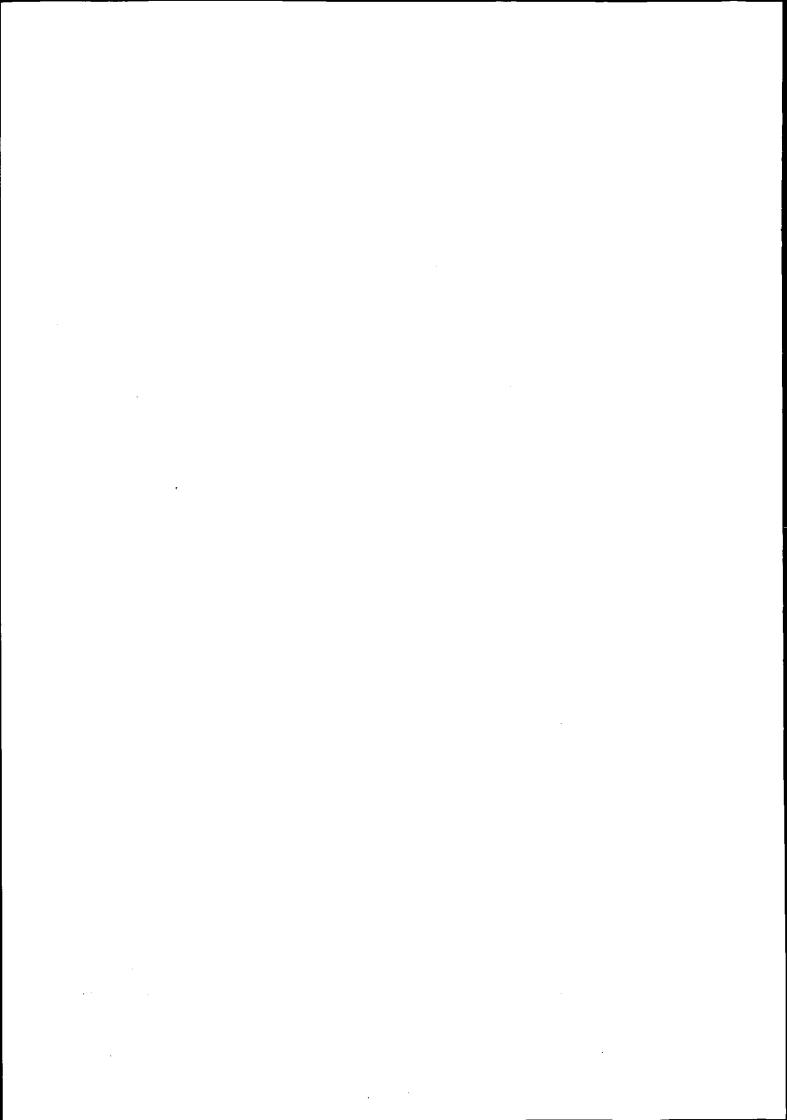
「日経ニュース・テレコン 操作ガイド」 日本経済新聞社データバンク局

· TSR-BIGS

「TSR-BIGSオンライン オペレーションマニュアル」 東京商工リサーチ

・テクノマート

「テクノマート 利用マニュアル」 日本テクノマート



クリアリングゲートウェイシステム運用実験

ユーザマニュアル

平成元年6月

発 行 財団法人 データベース振興センター

東京都港区浜松町二丁目4番1号

世界貿易センタービル7階

TEL 03-459-8581

印刷所 株式会社 正 文 社

〒113 文京区本郷 3丁目12番 2号

TEL 03-815-7271

		÷